

平成30年度 学 校 評 価 報 告

草加市立新栄中学校

(平成31年2月13日作成)

1 学校教育目標 自ら学ぶ生徒（知育） 思いやりのある生徒（徳育） 健康でたくましい生徒（体育） 正しい行動のできる生徒（社会性） 目指す学校像：「明るく活力のある新栄中学校」 ～生徒一人一人を大切に育てる教育の推進と地域に信頼される新栄中を目指す～	
2 重点目標・努力目標 ・確かな学力を身につけるための 学習指導の充実 ・積極的な生徒指導の推進 （いじめと非行を起こさせない指導） ・学校・家庭・地域との連携推進	3 前年度の成果と課題 成果 ○「明るく活力のある新栄中学校」を目指し、日々の教育に取り組んだ。特に「学力向上」においては、「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を軸に、規律ある授業が行われ、各学習状況調査結果を見ても、多くの教科・項目で伸びが見られた。委員会活動、行事、部活動においても活力が見られる。 課題 ●不登校生徒の解消。

4 評価表 ※評価基準〔A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である〕				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○各学期、重点目標具体策を提示し、全教職員共通理解のもと具現化に向け努力した。 ○職員の協調体制確立に重点をおいた。 ○会計処理の事務は的確に実施できた。 ●校務分掌の均衡化
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○校内研修の充実が図れた。 ○学力向上のための外部指導者の招聘、授業研究、基礎学力テスト、放課後補習、家庭学習の定着に取組み成果を上げた。 ○アクティブラーニングを取り入れた授業力の向上を視点に、指導者を招いての研修会の実施。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○安全指導は、年3回の避難訓練の実施により安全に対する意識が向上した。 ○年間計画通り、保健指導が実施できた。 ○保健室との連携は良好であった。 ○迅速な修繕処理ができた。老朽化もあるが、安全管理意識を高め、修繕処理を進める。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○校内パソコンの活用、情報の漏洩防止等で、情報管理は徹底された。教職員事故防止の観点からも更に意識を高めたい。 ○施設設備等の危機管理に関する教員間の意識が高くなった。 ○市の施設課との協力関係で修繕が進んだ。
	⑤地域との連携・開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校評議員の活用 ・地域・校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○便り、HP、学校公開等で情報発信した。 ○お祭り、防災活動等地域と一体となって活動することができた。 ○草加西高校生によるリトルティチャー事業での書道の指導、授業での理科実験助手の取り組みや野鳥観察会などの連携事業を実施し成果を上げた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の実現に向けた取組 ・教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○各部活動ごとのあいさつ運動、教員による学力向上に係る授業、小中連携乗り入れ授業、相互授業参観、合同研修会など、中学校区との連携を深めることができた。特に乗り入れ授業による成果が学力向上に現れてきた。次年度の草加市の研究委嘱発表に向けて更に進めていきたい。

草加市立新栄中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	- 教育課程の編成、実施 - 教育計画の作成 - 教育活動の評価 - 目標、方針の周知 - 授業時数の配当、確保	A	○教育活動は順調に実施できた。学校行事や体験活動の内容も充実し、家庭・地域から賞賛を得ている。 ○教育計画に基づいた教育課程を実施することができた。
	②教科指導	- 指導計画の立案 - わかる授業づくり - 指導方法の工夫と改善 - 評価、評定の工夫 - 外部人材の活用	A	○年間指導計画に沿って、授業を実施し、評価・工夫してできた。 ○「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を意識した授業が展開された。 ○学習意欲の向上を目指した授業改善と取り組み策（補習授業、家庭学習ノート）が実施できた。
	③道徳教育	- 全体計画の作成 - 各教科との関連 - 道徳的実践力の育成 - 家庭、地域社会との連携 - いのちの教育の推進	A	○指導計画や授業内容の学年内統一など、工夫がみられた。 ○「特別な教科道徳」に向けた授業力の向上と適切な評価について、道徳教育推進教諭による校内研修会を実施し、スキルアップを図った。
	④特別活動	- 指導計画の立案 - 学級活動、学級経営 - 学校行事 - 生徒会活動	B	○体育祭、しらすぎ祭など、学校行事は生徒の取組みの姿勢が素晴らしく、大変盛り上がり本校の新しい伝統となっている。 ●生徒会、専門委員会などの活動と自治活動の更なる充実が求められる。
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	- 指導計画の立案 - 指導内容の充実 - 指導方法の工夫と改善 - 評価の工夫	B	○本校独自のスキル学習の指導計画に沿って計画的・組織的な実践ができた。 ○年間の学校行事に連動した年間指導計画の作成と実施ができた。
	⑥生徒指導	- 組織的な生徒指導 - 問題行動への対処 - 教育相談、生徒理解 - いじめ防止対策 - 保護者、地域、諸機関との連携	B	○全職員が生徒と多くふれあうことで一人一人の生徒を良く把握し指導していた。 ○基本的生活習慣は定着している。 ●不登校生徒の解消が課題であり、さらなる教育相談部会の充実と関係機関との連携が課題である。
	⑦キャリア教育	- 組織的なキャリア教育 - 指導方法の工夫と改善 - 啓発的経験の充実 - 進路情報の収集、活用 - 職場体験活動	A	○3年間を見通した、全校的な進路指導・キャリア教育の指導計画が実施できた。 ○社会体験事業や上級学校訪問、三者面談の充実など、各学年が組織的に実践した。
	⑧特別支援教育	- 個別の指導計画、支援計画 - 指導方法の工夫と改善 - 通常学級との交流 - 諸機関との連携 - 校内支援体制の整備	A	○全校的な協力体制の下、一人一人の生徒の成長が見守られていた。 ○学校行事、部活動等を通して、通常学級の生徒や他の職員との交流も充実していた。
	⑨学校図書館教育	- 指導計画、支援計画の作成 - 図書館補助員の活用 - 諸機関との連携 - 図書館の整備 - 図書館利用の工夫	A	○「読書活動推進プラン」の委嘱を受け、学校司書、図書館教育担当教諭との連携により、様々な工夫改善に取り組んだ。特に「図書給食」など物語の中に出てくるレシピを学校給食に取り入れたり、小学校での読み聞かせ、草加市立図書館で開催された「ビブリオバトル草加の陣」への生徒の参加など、新たな取り組みを行った。結果、図書室の利用者が増えた。
	⑩情報教育	- 教育計画の作成 - 校内研修の充実 - ICT機器の積極的な活用 - 情報モラル教育の推進	B	○IT、ICTの活用方法などICT支援員の支援により、デジタル教科書やタブレットを活用した授業の取り組みが増えた。 ●携帯電話安全教室を実施しているが、依然SNS等、スマートフォンでの情報モラルの課題が残る。
	⑪人権教育	- 全体計画の策定 - 各教科との関連 - 人権感覚の育成 - 校内研修の充実	B	○人権教育担当教諭による校内研修を計画的に実施した。特に各教科での人権教育的視点での関連性を重視した。 ●4月の特別な教科道徳の取り扱いに、人権作文及び人権標語に発展できるような全体計画を見直す。

草加市立新栄中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	① 学力の向上	・各種学習状況調査 ・家庭学習の定着 ・授業改善	B	○基礎学力定着のための指導法の工夫、基礎学力テストの実施、放課後を活用した個別指導等を実施し、学力下位の生徒の学力の向上が見られた。 ○S Q Sを活用した授業評価は効果的である。 ●自主的な学習への取り組みは今後も課題である。
	② 体力の向上	・体力テスト ・部活動への参加意欲	A	○体育施設、部活動の環境整備を積極的に行った成果は見られ、体育授業では効果的な場の活用、部活動では各大会で上位の成績を獲得した。 ○業間休みの外遊びや部活動への積極的な参加が見られ、生徒たちはたくましく成長している。
	③ 特色ある学校づくり	・環境教育の推進 ・地域、PTAとの連携推進	A	○本校の特色である「野鳥観察会」においては、地域人材を活用し、幼・保・小・中のみならず、地域の方々と交えて環境教育に継続的に取り組んでいる。 ○町会夏祭りへの協力、バザーや活発なPTA活動等、地域との連携は順調であった。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

今年度、生徒の生活は落ち着いており、活力ある学校生活を送っている。毎朝の朝読書の効果もあり、授業は1時間目より整然と行われている。また、委員会活動、行事、部活動にも積極的に取り組んでいる。そのような中、昨年度に引き続き、課題である「学力向上」に向けて、研究と研修を重ね全職員で取り組んできた。特に「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を軸に、「アクティブラーニングの手法を取り入れた授業展開の工夫」に視点を置き研修会を実施し取り組んだ。各学力学習状況調査においては、まだまだ課題があり、しっかりと検証し取り組みたい。いじめに関しては「新栄中学校いじめ防止基本方針」の見直しを図りながら、全力で取り組んでいる。年5回のいじめアンケートの実施。業間時には教師は積極的に生徒に関わることから、生徒との信頼関係にも成果を出している。また、部活動や学校行事への生徒のエネルギーと団結力は素晴らしく、活力に溢れた生徒の姿に、保護者や地域から賞賛を得ている。更に、毎朝校門で保護者による挨拶運動、バザーや地域パトロール等、全員参加型のPTAの活動には心から感謝する次第である。

6 次年度の改善策

不登校生徒の解消が本校の課題であり、生徒指導上の非行問題は見られないが、教育相談的な問題が解消されない。学校への登校意欲を阻害している要因を追求し、課題解決に向けて学校・保護者・地域・諸機関が一体となって取り組んでいくことが重要である。具体的には、個々の生徒の悩みをしっかりと聞き、丁寧な対応を心がける。適切且つ迅速な初期対応を重視し、さわやか相談員やスクールカウンセラーとの連携を深めながら、教育相談部会を充実させ、様々な角度からアプローチし、課題解決に向け取り組む。更に、家庭や地域との連携を強化するとともに、特に家庭の協力を得るために保護者会、各種たより、三者面談等を通して、積極的に家庭と関わっていくことで、家庭の教育力向上を図る。

学力の向上については、全体的に伸びを見ることができ、特に英語の伸び率が高い結果となった。今後も引き続き、検証を重ね、研究と研修に取り組む。